

研究者交流支援制度 報告書

<招聘教授・研究員の情報 / Guest Professor・Guest Scholar>

1. 氏名/Name

Prof. Jörg Töpfer

2. 所属機関・職名/Affiliation (Home Organization)・Position

イエナ応用科学大学・教授

Ernst-Abbe-Hochschule Jena (University of Applied Science Jena)・Professor

3. 研究期間（入国日～出国日）/Period of Stay（from the date of entry to departure）

2025 年 6 月 12 日～2025 年 6 月 21 日

4. 専攻/Field of Research

材料科学/Materials Science

5. ホスト教員氏名と所属学部研究科等/Name of host teacher and affiliation

小原 学 理工学部電気電子生命学科／Gaku Obara, Department of Electronics and Bioinformatics, School of Science and Technology

6. 講演会の概要（タイトル、日時、場所、参加人数、内容）

タイトル：“Hard and Soft Ferrites – Still Searching for Better Magnetic Ceramics?”

日 時：2025 年 6 月 19 日(木) 2 時限目（10:50～12:30）

場 所：生田キャンパス第 2 校舎 A 館 A402 教室

参加人数：22 名

内 容：ハードフェライト磁性材料，ソフトフェライト磁性材料，熱電材料，センサ材料などにおけるこれまでと最近の研究および今後の発展性に関する講演

7. 研究課題、研究概要、研究期間中の活動実績 / Research Theme, Outline, Results

2025 年度明治大学研究者交流支援制度により、ドイツのイエナ応用化学大学 Ernst-Abbe-Hochschule Jena (University of Applied Science Jena) のヨルグ・トップファ教授を本学に招聘した。

トップファ教授は、材料科学のセラミックス分野で大変活躍している人物で、ドイツセラミックス学会の会長も務めている。セラミックスを材料とする磁性体，誘電体，機能性材料において、作製から各種評価まで幅広い研究を行っている。

7 月 19 日には、本学生田キャンパス A402 においてセミナーを開催し、学生及び教員を

含む多数の参加者が聴講した。講演は英語で行われ、酸化物材料として重要な位置づけの一つであるハードフェライト磁性材料及びソフトフェライト磁性材料を中心として、これまでの研究の歴史から最近注目されているトピックスまで解説した。また、熱電材料やセンサ材料についても触れ、現代社会におけるセラミックス材料の重要性から今後の発展性までも解説され、非常に貴重なセミナーであった。また、セミナーにおける英語も、聴講者の多くを占める学生が理解しやすいように、なるべく難しい言い回しを避けたわかりやすい英語を用いる配慮がなされており、学生からも「わからない部分もあったが、全体的には理解することができ有意義な経験を得られた」と好評であった。講演後に質疑応答も行われ、学生からも英語による質問がなされ、参加者にとって貴重交流の機会を得ることができた。

さらに、セミナー以外でも、ホスト教員の研究室に所属する学生の研究報告会にも参加され、本学学生との意見交換なども行っており、学生にとって非常に有意義な経験が得られた。

このような貴重な機会を頂きましたことに、関係各位に厚く御礼申し上げます。

小原



セミナーの風景